

令和８年度事業計画

１ 基本方針

令和８年度は、第５次基本計画の最終年度にあたり、これまで積み上げてきた取り組みの成果を確実に定着させるとともに、次期計画策定に向けた基盤整備を進める重要な年度となります。

一方、少子高齢化に伴う人口減少が進む中、高齢者のより一層の活躍が社会から求められています。「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」により、７０歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務とされ、就業環境は大きく変化しており、会員の高齢化も今後更に進展することが見込まれます。

こうした状況のもと、シルバー人材センターは、人生１００年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、生きがいや居場所を得られる場として、引き続き重要な役割を果たしていく必要があります。その為、今年１月に実施した会員アンケート調査の結果を踏まえ、女性会員の拡大、退会抑制、８０歳を超えても活躍できる就業環境の整備、更には、デジタル化の推進等に重点的に取り組んでいくことが重要であります。

また、令和６年１１月に施行された「フリーランス法」への対応として、契約方法の見直しや、新しい公益法人制度への移行準備等、センターを取り巻く環境は大きく変化していますが、これらの課題に対し、適切かつ円滑な対応を進めてまいります。

以上を踏まえ、地域から寄せられるの期待に応えるべく、次に掲げる事業を積極的に展開してまいります。

２ 事業計画

（１）センター組織の体制の強化

①総会出席率の向上

出席率８５％以上を目標とし、案内文の送付に加え、電話連絡、SMS、Smile to smile 等、多様な手段で通知を徹底するとともに、当日参加出来ない会員の意見も反映するため、委任状や議決権行使書の提出を推進する。

②未就業相談の充実

これまでの実績を基に、開催方法や開催場所等について検討

し、未就業会員個々の希望職種や健康状態の把握に努め、体力、健康状態に応じた働き方の提案をしていく。

③職群班活動の推進

安定的な受注体制の基盤として、定期的に職群班会議を開催し、会員同士の交流や学びの場としてのコミュニティ機能を持たせながら、仕事の専門性を高める技能集団として、安全意識と技術の向上も図っていく。

④ＩＴ化の推進

ＩＴ化を推進するため、センター公式 LINE を開設し、会員及び市民への情報発信の迅速化を図るとともに、ホームページや Smile to smile 等の既存ツールとの役割分担を明確にし、会員が必要な情報にアクセスしやすい環境整備を進める。

（２）事務局体制の強化

①事務局組織の強化と機能充実

センター運営の円滑化と会員サービスの向上を図るため、業務量に応じた適切な人員配置を行い、専門性を持つ人材の育成を推進し、効率的かつ信頼性の高い運営体制を構築する。

②他市センターの情報収集

地域社会の変化や会員ニーズに的確に対応するため、他市センターにおける運営事例や先進的な取り組みを積極的に収集・分析することで、センターの事業改善や新規事業の企画に役立て、組織の持続的発展を図る。

③会員と役員・事務局職員の連携強化

お互いの役割を尊重し、各種会議等で情報共有と意見交換を活発に行い、会員・役員・事務局職員が一体となって協力し、組織全体の結束力を高めていく。

また、会員同士の繋がりを高める取り組みを検討していく。

（３）会員の拡充と広報の充実

①会員の拡大

前年度末の会員数プラス５０人を目標とし、入会説明会の定期的な開催や柏市・ハローワークとの連携、パレット柏を活用したシルバーサロンの開催等で、広く市民にセンターの活動を周知し、会員拡大を図る。

また、新入会員へのフォローアップや就業紹介のマッチング精度を上げ、退会抑制に繋げていく。

② ホームページ等の掲載内容の充実・更新

ホームページからの問い合わせやアクセス数が増加していることから、センターに関する情報や会員、発注者にとって有益な内容について、積極的に掲載し、迅速かつ適切な情報発信に取り組む。

③ 研修計画の策定と研修メニューの開発

職群班会議において研修要望を把握するとともに、センターの受注構造に合わせて、就業会員のスキルアップを図るための研修を計画、実施していく。

また、会員の健康管理の推進を図るため、フレイル予防講座を検討する。

(4) 就業機会の確保・拡大

① 受注の拡大

公共分野の受注拡大を図るため、市役所を定期的に訪問し、シルバー人材センターの活用を提案するとともに、民間企業には、新たなニーズのヒアリングを行い、新規就業先の確保、拡大に繋げていく。

② 請負・委任及び派遣事業の拡充

新入会員研修や職群班研修等の様々な機会を通じ、就業の質の向上を図り、センター全体の評価を上げることで、既存契約先の拡充に繋げる。

包括的契約に移行後も従来の請負・委任と派遣事業をバランス良く拡充させ、受注の安定性を向上させる。

③ 独自事業の充実

シルバー学び隊事業を促進させるとともに、地域の課題をセンターが解決する仕組みを検討し、新たな独自事業のサポートを行う。

④ 顧客満足度の向上

顧客満足度アンケートを実施することで、会員の就業状況を確認し、効果的な就業方法や改善点の把握に努める。

また、就業品質のばらつきを無くすとともに、コミュニケーション不足の改善、対応スピードの向上に努め、顧客満足度の向上

に繋げていく。

⑤適正就業の確保

会員の安全の確保、契約内容による法令遵守に取り組みながら、適正就業の確保に努め、会員が安心して就業できる環境整備に努める。

また、安全就業と事故防止を目的とした「就業違反取扱基準」を策定し、安全基準・適正就業及びコンプライアンスの順守について、会員への周知徹底を図る。

(5)安全就業の推進

①安全部会の機能強化

安全部会に於いて、事故現場の発生状況を検証し、原因の究明に努めるとともに、再発防止対策を講じる。

また、事故の発生状況は、広報紙等を通じて会員に情報提供し、注意喚起を行う。

会員の健康維持・管理のため、年1回の健康診断の受診を呼びかける。

②安全パトロールの実施

安全部会員及び役職員による作業現場のパトロールを実施し、チェックリストに基づき、安全就業基準が守られているかを確認する。基準に反している場合には、その場で改善指導を行い、事故防止に努める。

また、指導した内容については、ホームページや広報紙等を通じて、会員と発注者に情報提供する。

③事故の削減

安全就業を推進するため、職群班毎の研修を行うとともに、事故防止の啓発、安全意識の高揚策として、安全標語の募集を行う。

また、就業途上の交通事故防止を図るため、柏警察署による交通事故防止講座を計画する。

(6)経営及び事業運営の基盤強化

①経営視点での事業運営

持続可能なセンター運営を実現するため、経営的視点を重視した事業運営を推進する。

また、限られた資源を最大限に活用し、収支の健全化と効率的な事業展開を図ることで、会員サービスの向上と地域社会への

貢献を両立させる。

(7) 地域社会への貢献

① 地域イベントへの積極的な参加

センター事業の認知度向上と会員拡大を図るため、市や関係団体が主催する地域イベント等への参加を検討し、地域との繋がりを深めていく。

また、センターが主体となる交流の場の創出についても検討を行う。

② 地域貢献・会員と市民の交流推進

役職員が一丸となり、公園清掃ボランティア活動を継続し、公益法人として地域貢献度の向上を図る。

また、シルバーサロンの開催を通じて、市民との交流促進に努める。